

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 22 号

第 22 週(5月 30日 ~ 6月 5日)

発行年月日:平成17年(2005年) 6月 10日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (22週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (22週)	全国 (22週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 4	234	9	576
	腸チフス	0	0	23	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	460	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)3</sup> 22	1	34
	オウム病	0	1	24	1	39
	デング熱	0	1	13	2	45
	マラリア	0	0	27	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	280	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	122	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	28	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	1	426	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	23	2	85
	梅毒	0	0	209	4	516
	破傷風	0	0	32	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	31	0	49
急性脳炎	0	1	<sup>(*)3</sup> 97	1	164	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3:平成17年第20週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

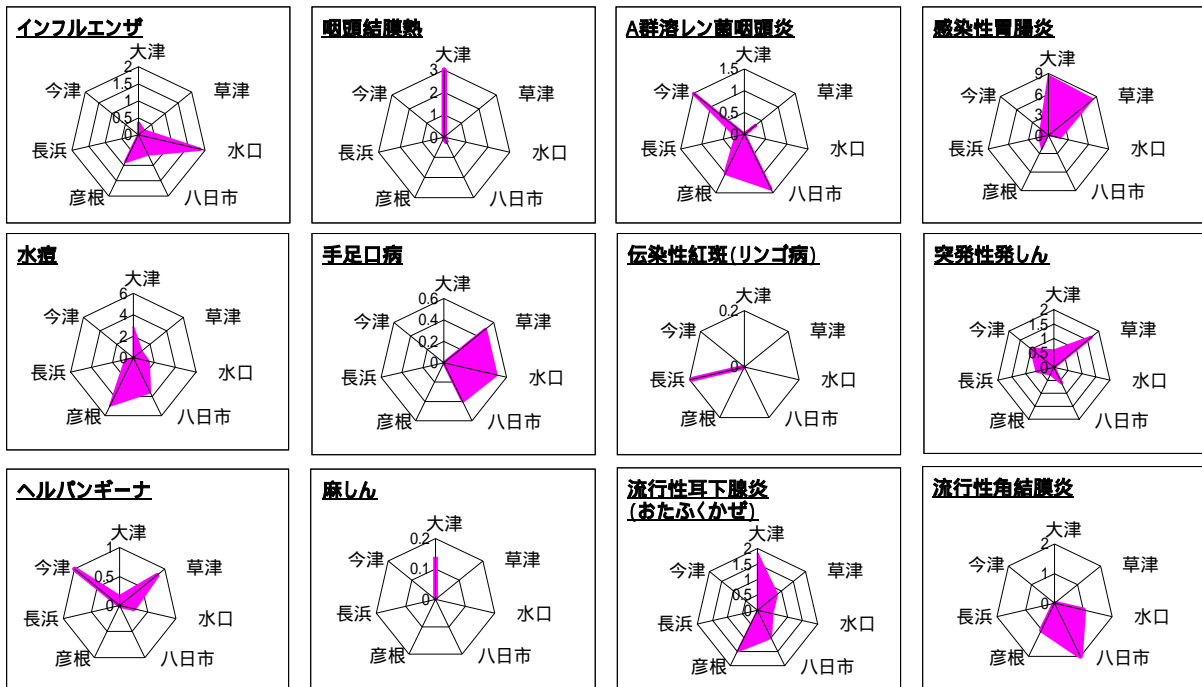
#### (1) 疾病別・週別発生状況(第17~22週, 4/25~6/5)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	17週	18週	19週	20週	21週	22週	週				
	(4/25~)	(5/2~)	(5/9~)	(5/16~)	(5/23~)	(5/30~)	18	19	20	21	22
インフルエンザ	5.96	2.57	0.98	0.76	0.45	0.59					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.09					
咽頭結膜熱	0	0.24	0.39	0.45	0.55	0.67					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	0.39	0.88	0.91	0.64	0.52					
感染性胃腸炎	3.88	2.64	2.94	4.45	3.91	4.15					
水痘	1.76	1.79	2.18	1.36	2.91	2.24					
手足口病	0.06	0.12	0.18	0.39	0.30	0.21					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.09	0.06	0.09	0.09	0.03					
突発性発しん	0.24	0.30	0.27	0.61	0.42	0.70					
百日咳	0	0	0.03	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0.03	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.15	0.09	0	0.27	0.36	0.27					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0.03					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.58	0.82	0.85	0.94	0.97	0.94					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0	0.43	0.57	0	0.29	0.57					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第22週、5/30～6/5)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0.59	0.36	0.20	1.86	0.63	0.86	0	0
RSウイルス感染症	0.09	0	0.50	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.67	3.00	0	0	0.20	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	0	0.33	0	1.40	1.00	0.20	1.50
感染性胃腸炎	4.15	8.71	8.33	1.75	0	2.25	1.40	1.50
水痘	2.24	2.86	1.00	1.50	3.60	5.00	0.80	0
手足口病	0.21	0	0.50	0.50	0.40	0	0	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0	0	0.20	0
突発性発しん	0.70	0.57	1.67	0	0.60	0.25	0.60	1.00
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.27	0.14	0.83	0.25	0	0	0	1.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.94	1.86	0.83	0.50	1.00	1.50	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.57	0	0	1.00	2.00	1.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶レン菌咽頭炎は先週より減少していますが、八日市および彦根での発生がやや多くなっています。突発性発しんについては草津で急増しています。また、麻しんの発生は大津から、RSウイルス感染症の発生は草津から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### 咽頭結膜熱の発生は増加傾向持続 インフルエンザの発生は微増

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(5月23日～5月29日)の報告数とほぼ同じです。今週、増加を示した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、突発性発しん等です。その他の疾患については、横ばいまたは減少となっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

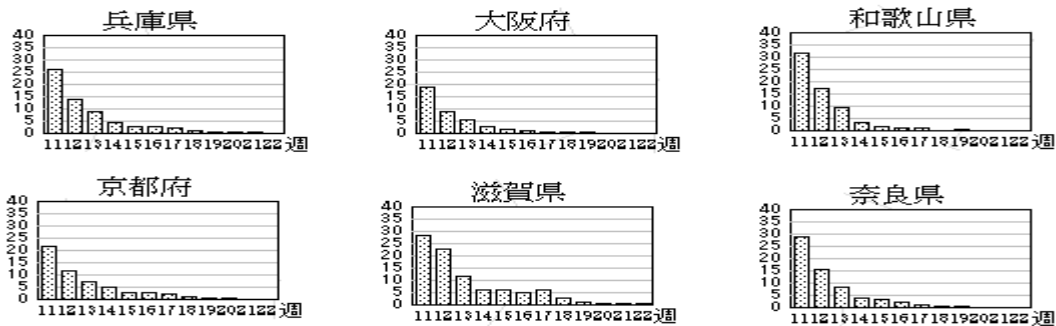
**インフルエンザ**については、先週の定点当たり患者数0.45より微増し0.59となっています。特に、水口保健所管内における定点当たり患者数は先週の1.29よりさらに増加し1.86と多くなっています。

**咽頭結膜熱**については、先週の定点当たり患者数0.55より増加し0.67となっています。特に大津保健所管内の定点当たり患者数は3.00と先週に引き続き多くなっています。

**感染性胃腸炎**については、先週の定点当たり患者数3.91より増加し4.15となっています。大津および草津保健所管内の定点当たり患者数は先週に引き続き多くっており彦根および長浜保健所管内においても先週より増加しています。

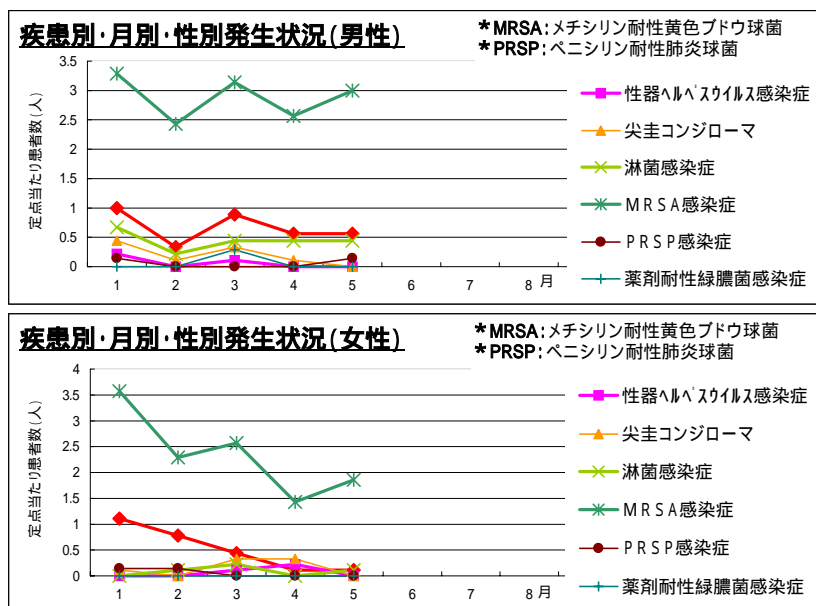
**水痘**については、先週の定点当たり患者数2.91より減少し2.24となっていますが八日市および彦根保健所管内の定点当たり患者数は先週に引き続き多くなっています。また、大津および水口保健所管内においても先週より増加しています。

#### 他府県におけるインフルエンザの発生状況(平成17年第11～22週, H17.3.14～H17.6.5)



滋賀県近隣の他府県における平成17年第22週のインフルエンザの発生状況は大阪府、京都府、奈良県および和歌山県の定点当たり患者数が0.1以下となっています。兵庫県および滋賀県における定点当たり患者数はそれぞれ0.17、0.59となっておりインフルエンザの発生が持続しています。また、福井県および三重県における第22週の定点当たり患者数はそれぞれ、0.25、0.18となっています。

### 4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月～5月)

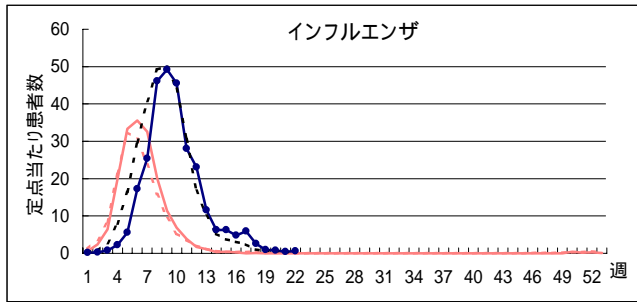


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、淋菌感染症、MRSA感染症およびPRSP感染症は増加し、性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマは減少しています(詳細については性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

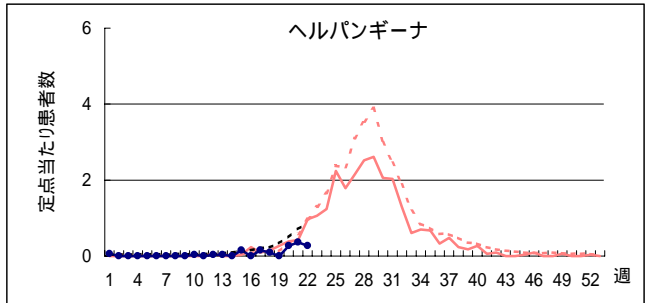
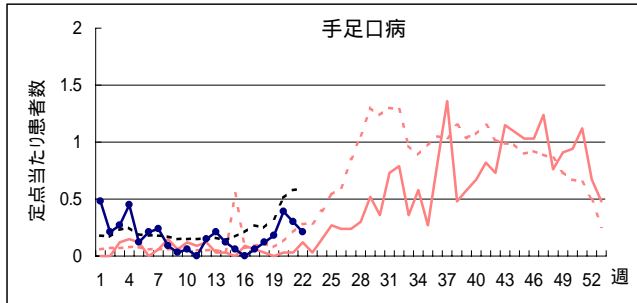
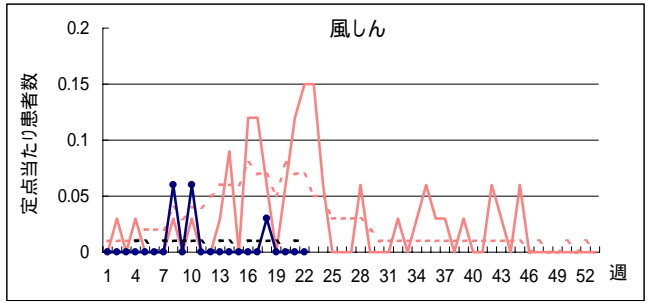
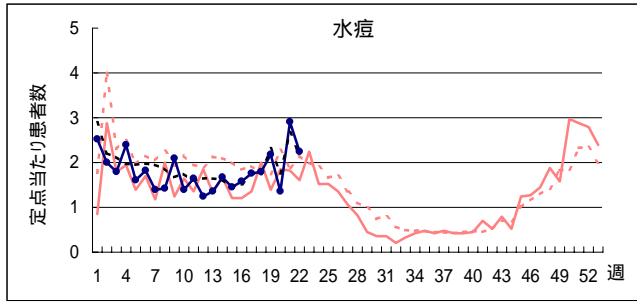
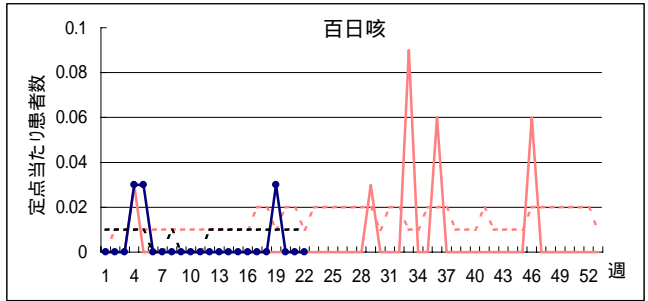
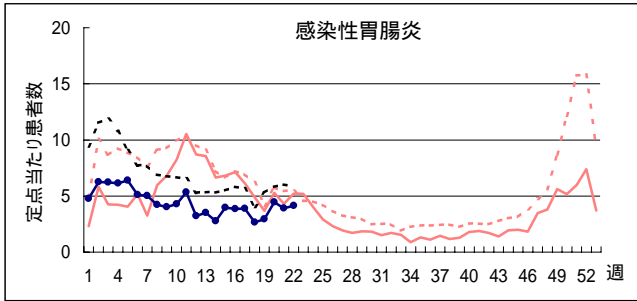
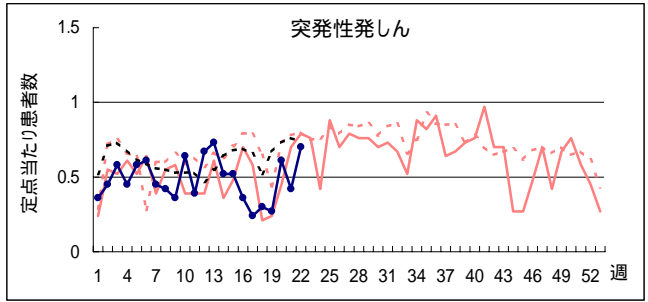
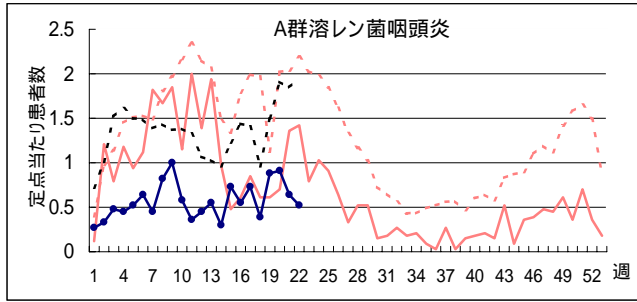
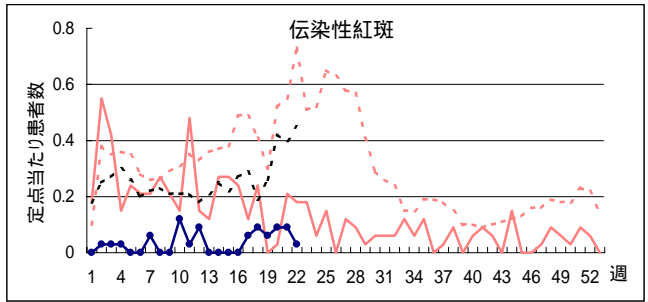
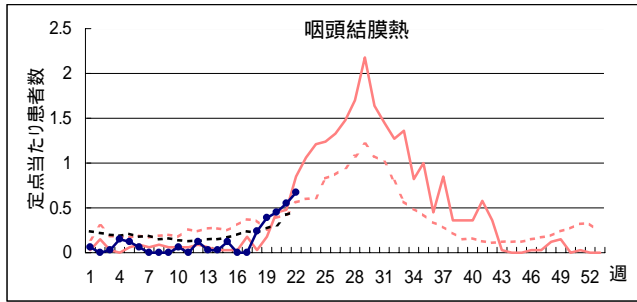
各疾患の月別・性別発生状況は左記のグラフのとおりです。男性ではMRSA感染症およびPRSP感染症が増加し、女性では淋菌感染症およびMRSA感染症が増加しています。また、性器ヘルペスウイルス感染症は女性で減少しています。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第22週、H17.1.3～H17.6.5)

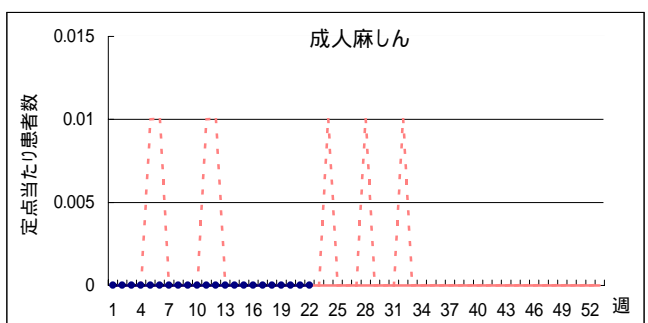
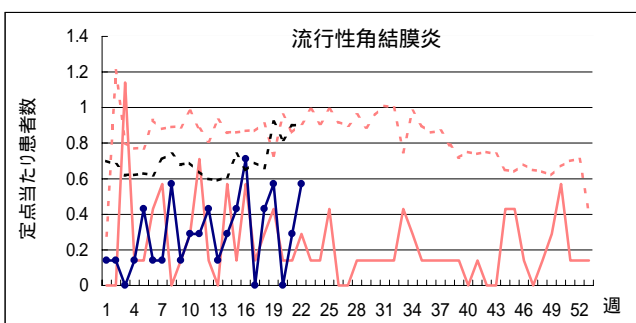
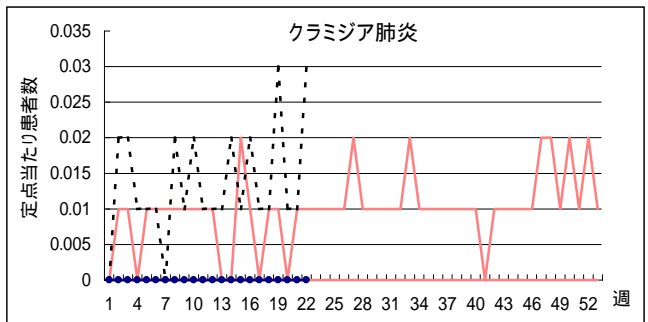
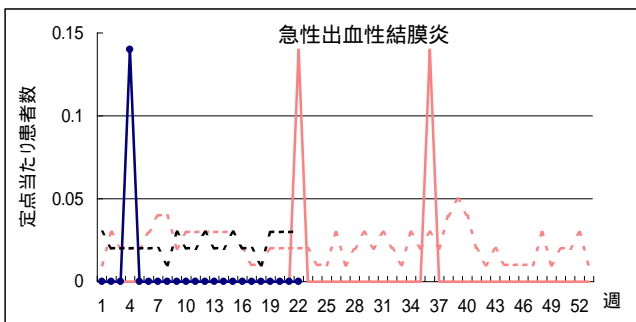
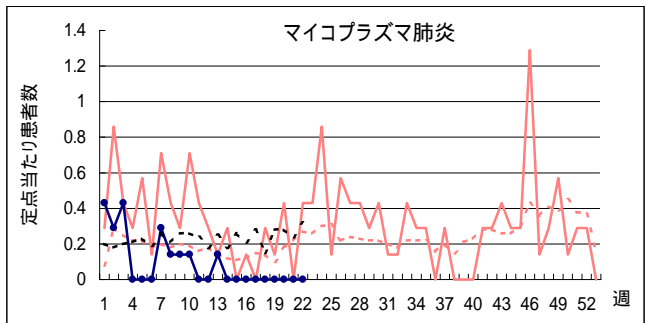
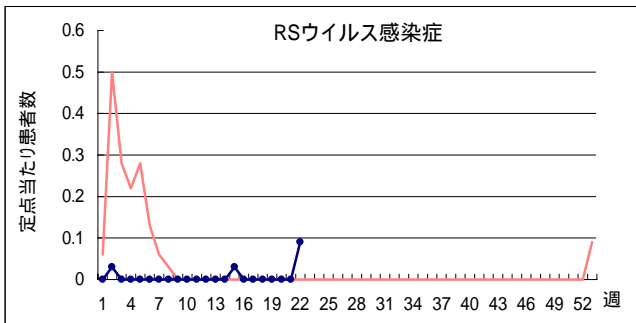
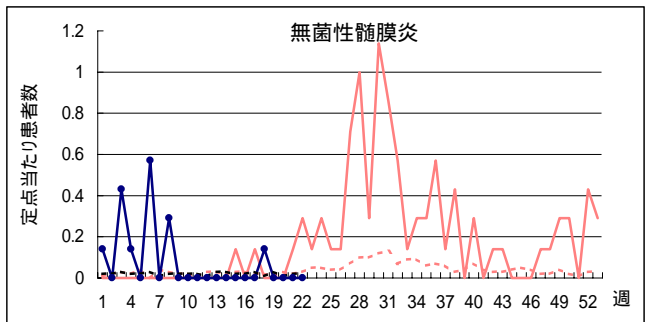
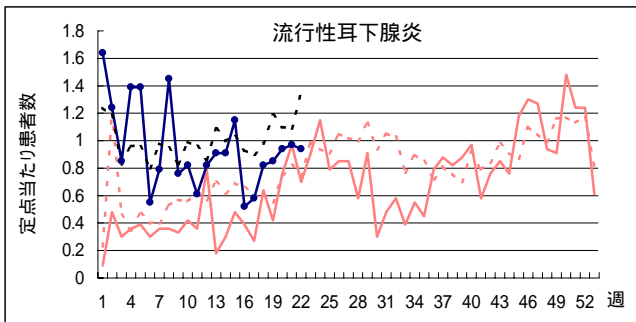
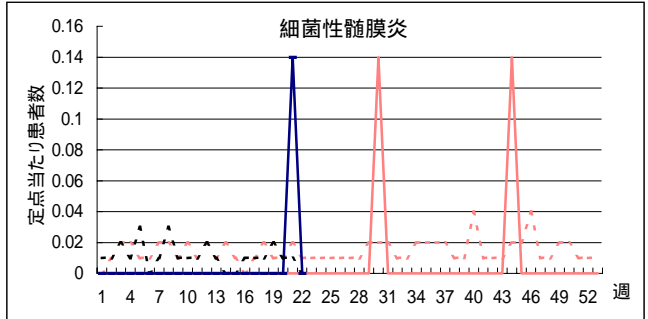
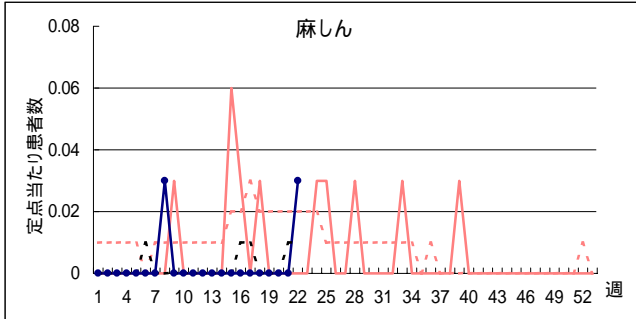


H16 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第22週、H17.1.3～H17.6.5)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

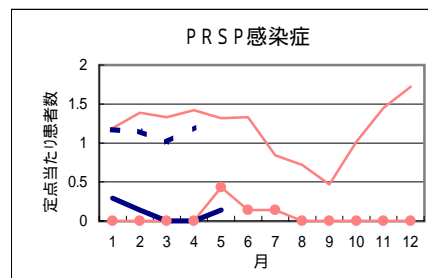
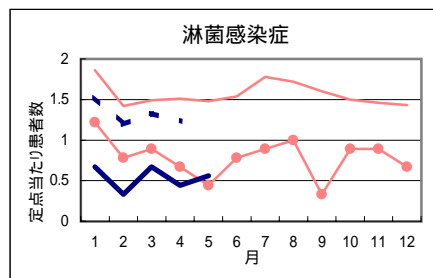
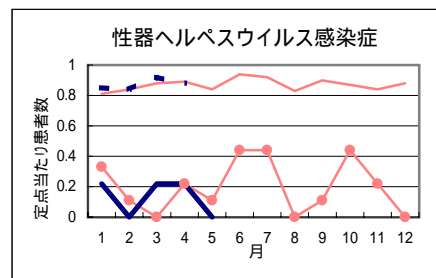
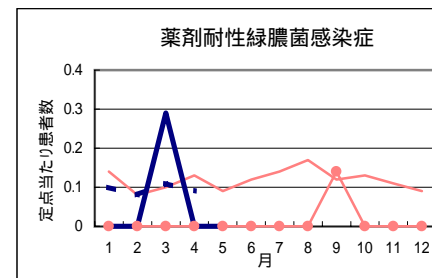
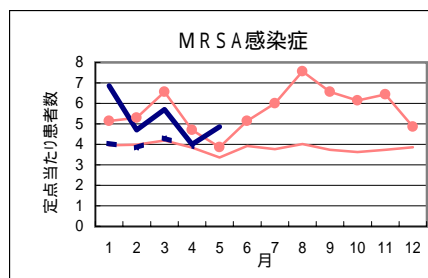
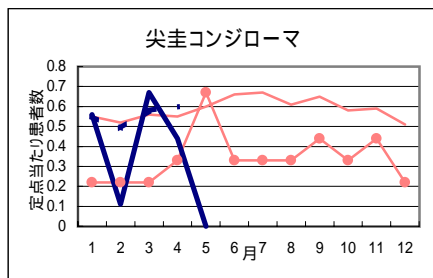
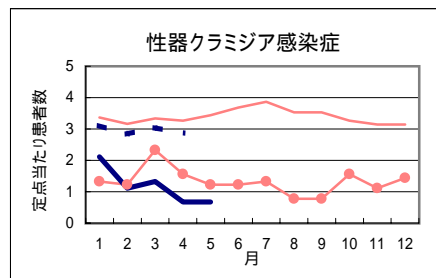


# 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

5月報 (集計期間:平成17年1月~5月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19	10	12	6	6								53
	定点当たり	2.11	1.11	1.33	0.67	0.67								1.18
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2	0	2	2	0								6
	定点当たり	0.22	0	0.22	0.22	0								0.13
尖圭コンジローマ	罹患数	5	1	6	4	0								16
	定点当たり	0.56	0.11	0.67	0.44	0								0.36
淋菌感染症	罹患数	6	3	6	4	5								24
	定点当たり	0.67	0.33	0.67	0.44	0.56								0.53
MRSA感染症	罹患数	48	33	40	28	34								183
	定点当たり	6.86	4.71	5.71	4.00	4.86								5.23
PRSP感染症	罹患数	2	1	0	0	1								4
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.14								0.11
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	2	0	0								2
	定点当たり	0	0	0.29	0	0								0



H16 { 滋賀 ●●●●●  
       { 全国 ○○○○○  
 H17 { 滋賀 ●●●●●  
       { 全国 ○○○○○  
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌